

令和3年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組
 ～青少年を育てる環境づくりの推進について～

【テーマ】：「ペアレンタルコントロール等によるインターネット利用に係る
 子供の犯罪被害等の防止に関する保護者や青少年の意識の向上」の取組

市町村名（屋久島町）

事業名	ネットポリス講演会	実施時期	7月6日(火)
趣旨又は目的	近年、携帯電話やスマートフォン所持の低年齢化やネット依存の子どもたちが増加する傾向にある。 ネット通信機器は便利で、私たちの生活に欠かせないものとなっているが、その利用を誤ると、犯罪に巻き込まれたり、生活リズムを崩したりする可能性もある。 そこで、ネット通信機器を安全に、効果的に活用することへの、子どもたちやその保護者の意識を高めることを目的として、本事業を実施した。		
参加者	小学生57名・保護者10名・教職員7名、計74名		
活動概要	1 実施場所 町内3小学校(体育館・教室等)、各家庭 2 実施方法 Zoomによるオンライン開催 (講師、各小学校、参加希望保護者の家庭をつなぐリモート開催) 3 講師 NPO法人ネットポリス鹿児島 代表:戸高成人氏 4 内容 「健康被害とメディアの危険な関係」		
活動写真 [説明]	<div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、分散会場でのオンライン開催とした。 児童へ向けての講話であったが、保護者へも声をかけ、各家庭の端末からも視聴できるようにした。 ブルーライトが体や脳に与える影響等、専門的な話をしていただき、大変勉強になった。受講した保護者からは、「今後も、大人がもっと勉強をして子どもを守っていかなくては、と考えさせられた。」などの感想があった。</p> </div> </div>		